



がんばれ！飯山

県内・外から支援の輪

高齢者世帯を中心に145世帯へ、延べ716人の除雪ボランティアがお手伝い

「いつも飯山でスキーを楽しませてもらっているのに、何かできないかと思っ
て来ました」
「昔、飯山で暮らしていた
ことがあるので、自分の
実家のように心配で来て
しまいました」
「社長に行くように言われ
て、率先して手を挙げま
した」
「テレビを見て大変だと
思っ
て来ました」

「飯山市の全職員が、休
み返上で支援していると
聞き、何か役に立ちたい
と思っ
てきました」
「動機は様々ですが、助
け合いの輪は、地域を越
えて大きく広がりました」
飯山市災害対策本部の
要請で、社協がボラン
ティアの受け入れを担当
することになり、1月5
日(木)に雪害ボランテ



アセンターを立ち上げま
した。
ボランティア受付風景

対策本部、担当の民生
委員さんと連絡調整のう
え、高齢者、障害者世帯
を中心に、ボランティア
活動希望者を送り出す作
業が、1月7日(土)か

ら始まりました。
派遣世帯からは、「障害
を持つ夫との二人暮らし。
その夫の介護と止むこと
のなく降り続ける雪、亡
き父母がやっとのおもい
で建てた土蔵まで壊れ、
心身共に疲れ、本当に困
り果てておりました」
皆様の暖かいお心を糧
に、気持ちを引き締めて
がんばろうという気持ち
になりました」
「汽車賃かけて大阪から来
てくれたんだって。本当
に助かりました。今の若
い衆に勇気づけられまし
た」
「外へも出られなかったの
に、家の前の雪を片づけ
てもらって久しぶりに外
に出られて嬉しかった。
慣れない仕事なのに一生
懸命やっている姿は、本
当に気持ちの良いもので
した」



オリエンテーション
活動上の注意、派遣先の説明を受ける



区長、民生委員と打ち合わせをし、さあ活動!

これまで飯山市は、阪
神大震災や日本海重油流
出事故、三条市の水害、
中越地震等支援活動を
行ってきましたが、災害
ボランティアセンターの
立ち上げは初めてでした。
今年度、長野県社会福
祉協議会の委託を受け、
ボランティア活動者、民
生児童委員、区長他、市
民を対象に「災害ボラン
ティアセンターの立ち上
げ訓練事業」を実施し、
ボランティアの受け入れ、

派遣希望者との調整等の
訓練を受けたことは大き
な宝となりました。
この冬は、自衛隊の派
遣を受けたり、県内外か
らボランティアの協力を
いただいたりしましたが、
飯山市民が本来持つてい
る底力を発揮し、現在も
各区ごとに、地域ぐるみ
の克雪地域づくりや除雪
活動が行われています。
第一中学校でも、2月
9日には学校周辺の高齢
者宅の雪片付けを行いま

した。
県社会福祉協議会では、
今回「長野県除雪ボラン
ティアセンター」を立ち
上げ、北信地方へボラン
ティアを派遣しました。
今後、県内の大きな災
害に備えるため、ボラン
ティアの登録を随時受け
付け、災害が起きた時に
は、情報提供や活動支援
をするほか、定期的に研
修を行う「災害ボランテ
ィア・ネット信州」を発足
させています。

ありがとうございました

出身別 ボランティア活動者数

県外 76名
(東京都、神奈川県、愛知県他)
県内 623名
(長野市、松本市、千曲市、上田市他)
飯山市内 17名
(ボランティア連絡協議会役員他)

見舞い金

上松郁夫様 1万円
三浦 ハス様 1万円
諏訪青年会議所様 54,033円
山口由富子様 3万円

物品

県社協様 スコップ9本、スノーダンプ3台、
長靴10足

白井悦夫様 みかん1箱 落花生1袋
戸狩観光開発様 腕章200ヶ
ホソダクリエイティブ(株)様スノーダンプ10台
皇学館大学社会福祉学部様 スコップ3本 長靴1足
大日方商店様 パナナ86箱
北陸コカ・コーラボトリング(株)様
コカ・コーラ7ケース
北信ヤクルト販売(株) ヤクルト56本
駒ヶ根青年会議所様 栄養ドリンク70本
(有)カタシオ様 貼るカイロ
奥野真巳様 栄養ドリンク
長野青年会議所様 栄養ドリンク560本
鈴木張司様 栄養ドリンク
井出悦雄 スノーダンプ7台



長野県高校生ボランティア交流集会でも除雪の分科会が登場しました。
2月4日 太田ピアホール周辺